

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道 292号 <small>とみくら</small> 富倉バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県飯山市関屋 至：長野県飯山市中谷			延長	3.9km
事業概要	一般国道292号は、群馬県長野原町から新潟県新井市に至る延長約117kmの幹線道路であり、野沢温泉、志賀高原等観光地へのアクセスルートであり、特に冬期は大型観光車両の交通量が多い。富倉バイパスは、富倉地区の幅員狭小、線形不良の解消を目的とした延長3.9kmの2車線道路である。				
S60年度事業化	都市計画決定 なし	S62年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	約55億円	事業進捗率	82%	供用済延長	2.0km
計画交通量	2,100 台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.5 (残事業) 1.8	(残事業)/(事業全体) 11 / 13 億円 事業費：9 / 11億円 維持管理費：2 / 2億円	(残事業)/(事業全体) 20 / 20 億円 走行時間短縮便益：19/19億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円	平成15年	
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） ・災害の備え（雪崩危険箇所の解消） 他3項目に該当（定量的評価項目を除く）				
関係する地方公共団体等の意見	飯山市より整備促進の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	雪崩による交通規制が多発した濁池地区のバイパス整備が完成し、冬期間の交通の安全性の確保が可能となった。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに2.0kmが供用済みである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残区間の整備を進め、平成19年度全線開通予定である。				
施設の構造や工法の変更等	縦断計画を見直し、土留め構造物を小規模化を図ることによりコスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されると考えられる。				
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。